

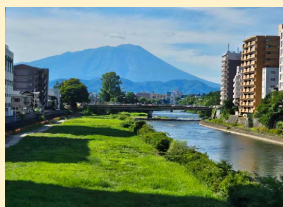
就任あいさつ

公益社団法人岩手県看護協会盛岡支部
支部長 大平 栄子（盛岡南病院）

立秋を迎え、過去最高の暑い夏も朝夕に涼しさを感じられるようになりました。会員の皆様には、日頃より盛岡支部の活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度より支部長を務めます、盛岡南病院の大平と申します。盛岡支部は、今年度、私を含め7人の役員・委員が新しく就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは一関にある六芒星をご存知ですか？一関市の配志和（はいしわ）神社を中心に星形に鎮座する6つの神社が結界を作り、岩手への新型コロナウイルス（以後コロナ）の侵入を最後まで防いだと言われています。あれから数年、5類移行後、スーパーの手指消毒液は隅に追いやられ、マスクをしている人も少なくなりました。しかし我々医療現場においては、予断を許さない感染症であることに変わりはありません。私は漠然と「コロナは盆と正月に流行する」と感じていました。単純にイベントによる混雑や人の流れと考え注意喚起していましたが、どうやらそれだけではなさそうです。先日「新型コロナウイルスは夏と冬の2回流行期がある」というデータが発表されました。ウイルスの性質・人間の行動変容・気候環境の3つが複合的に影響しているそうです。猛暑や極寒の中、エアコンのある密閉した室内で、複数人が過ごすという事でしょうか？コロナに対する意識は医療・介護現場（職場）と一般社会（プライベート空間）とでは、かなり温度差があります。3密やソーシャルディスタンスはもう過去の言葉なのかもしれません。それもまた致し方ない事実です。そのギャップの中で日夜奮闘している皆様のストレスはかなり大きいと感じます。

私たち盛岡支部役員・委員18人は、普段は現場で活躍する傍ら看護協会でも活動するいわゆる二刀流です。同じような悩みを抱えています。だからこそ皆様と寄り添い、コロナに限らず、様々な情報をキャッチするアンテナを高くし、タイムリーな情報や知識、対策を発信していきたいと考えています。盛岡支部役員・委員が、盛岡の六芒星として活動できる様、背中を押していただければ幸いです。



8月16日 旭橋より撮影

日本看護協会通常総会に参加して

鎌田 志のぶ

令和7年6月11日、千葉県幕張において行われた日本看護協会通常総会に初めて参加しました。

『看護職のウェルビーイング向上』をテーマに重点政策や重点事業・計画が議題となり、細部に渡る提案が報告されました。

自分自身日常の業務に追われ、目先の問題に囚われがちですが、その先の大きな課題に着目されていて、『看護の将来ビジョン2040』にあるように看護提供体制の確保、看護職自身のウェルビーイングの重要性について、代議員・一般会員の2,057名近くの参加者と同じ空間で協議を聞き、改めて看護協会の職能団体としての役割を認識することができました。

協会ニュースで定期的に情報を見てはいましたが、どこか遠い世界のように感じていたものが、全国の方々の質疑応答が活発で勢いを感じると共に場所は違っても同じような悩みを抱えている人たちがいることに連帯感を感じました。

行動を共にした皆さんとも多職種情報交換の機会を得ることができ、刺激を得られ有意義な機会となりました。



会場の幕張メッセ
上:入口
下:会議場

一里塚まつり「まちの保健室」に参加して

小向 敦子

令和7年7月26日(土)・27日(日)、盛岡市緑が丘で夏の恒例行事となっている『一里塚まつり』が開催され、その中で岩手県看護協会が行っている「まちの保健室」に参加しました。「まちの保健室」とは、地域住民の方が気軽に健康相談や介護相談などを行える場として提供されているもので、血压測定などの健康チェックを受けることができます。近年、医療や療養の場が在宅へと移行しつつある中、疾病予防や退院後の生活を支えるうえで、このような場の提供は非常に意義があることと考えます。

当日は、30℃を超える猛暑となりましたが、参加者の皆さんの元気の良い声や熱気溢れる催し物を片目に楽しく参加することができました。

今回、「まちの保健室」には、40～80代まで幅広い年齢層の方がお越しくださいました。まず、私が驚いたことは、皆さんの健康意識が高いということです。ご自身やご家族の日頃の血压値を把握されている方、内服中の薬についてスラスラと話される方、スマートフォンのアプリで血压管理をされている方、過去の入院・治療経験をもとに様々なことに気を付けて生活されている方など、日頃から自身の身体に関心を持ち生活されている様子を伺うことができました。

一方で、少し気がかりだったのは、熱中症対策について。一部の方ではありますが、「家にクーラーはあるけれど冷たい風が嫌だから使わない」と話していました。つい最近、熱中症で医療機関を受診したという方も居り、熱中症予防には、情報発信だけでなく、皆さんの理解と納得を得られるような工夫が必要と感じました。

幸いにも2日間を通して体調不良者は発生せず、健康相談に緊急性の高いものはありませんでした。今後もこのような機会には積極的に参加し、少しでも地域の方々のお役に立てればと思います。



令和7年度岩手県看護協会 盛岡支部役員・委員

7月から新しいメンバーで活動を開始しています。
どうぞよろしくお願い致します。

役員・委員名	氏 名
支部長	大平 栄子(看)
副支部長	近藤 真理子(保)・鷹觜 はる香(看)
書 記	鎌田 志のぶ(看)・立花 貴久美(看)・千葉 さつき(看)
会 計	伊藤 由美(看)・小向 敦子(看)
職能委員	工藤 希真恵(保)・石橋 英美(保)
職能委員	小原 紀子(助)・藤村 歩衣(助)
職能委員	寺長根 千晴(看)・平賀 貴子(看)・苗代澤 洋子(看)
推薦委員	照井 礼子(保)・和田 香織(助)・稲村 陽子(看)

役員より ひと言ごあいさつ パート1

皆様にご指導をいただきながら、
精一杯努めて参りたいと思います

照井 礼子

会員の皆さまのお役に少しでも
立てるよう頑張ります

小向 敦子

未熟ものですが皆様に教わり
ながら必死でついて行きます！

和田 香織

充実した活動を目指して皆さん
と一緒に頑張ります

近藤 真理子

支部活動を通し、実際の活動に関わら
せていただくことで、私自身の学びと
なっています。この取組が、地域の看護
の質向上につながることを願い、今
後も務めさせていただきます

伊藤 由美

楽しい活動を心掛け、会員の
増員をめざします

鷹觜 はる香